



学校だより

9月号

令和元年 9月2日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

どんな夏休みでしたか？

学校長 小澤 紀子

青い空に入道雲。ゆでたてのトウモロコシと枝豆。朝からうるさいほどのセミの声。「朝の涼しいうちに勉強しなさい。」の声。キラキラ光るプールの水。朝顔やひまわりの花。突然の雷に夕立。蚊取り線香のにおい。…幸せを感じる私の夏休みの記憶です。子どもたちはどんな夏休みを過ごしたのでしょうか？地域のお祭りなどで出会う子どもたちはいつも元気いっぱいでした。暑さもなんのその！暑さを吹き飛ばしながら夏を満喫したのでしょうか？

低学年は天候不順のため行うことができなかった夏休み水泳教室ですが、後半は4～6年生がしっかりと練習し、希望ヶ丘小学校で行われた旭区水泳大会に出場しました。ベストタイムをめざし、友達を応援し、他の学校との交流を深める機会となりました。力いっぱい泳ぐ姿、大きな声で仲間を応援する姿、どれも素晴らしく、思い出の一コマとして心に残ってくれることでしょうか。50M自由形、200Mリレーの児童が旭区代表に選出され、横浜国際プールで行われた横浜市児童水泳大会に出場しました。旭区みんなの声援を受けて、自己ベストをめざして泳ぎました。オリンピックの五十嵐千尋さんの模範水泳には美しいフォームと速さに驚きの声と拍手が送られました。横浜市出身の五十嵐さんも小学生の頃、横浜市水泳大会に出場したとの話を聞き、今年度で終わりになるこの水泳大会の歴史を感じることができました。最後の大会で善部小の子どもたちが自分たちの力を発揮して泳ぎ切ることができたことを誇りに思いました。

昨年は猛暑のため1日で中止になってしまった夏休み学習教室は、たくさんの参加申し込みがあり盛況でした。宿題や自分の課題をしっかりとやって、みんなでレクを楽しみ、本の読み聞かせに目を輝かせる3日間となりました。今年は水泳教室と日程が重ならなかったため、午前中に行うことができてよかったです。事務局の皆さん、まちの先生方、本当にありがとうございました。

今年も5・6年生がジュニアボランティアとして夏休みに活動しました。8月1日に旭公会堂で就任式が行われ、旭区長さんから赤いバンダナをいただき活動がスタートしました。保育園やサポートセンターなどでの人とのふれ合い、車いす体験など、民生委員や児童委員のみなさん、地域の方々にお世話になりながら、経験を通して学べる子どもたちは、本当に幸せなことです。

毎年行われている「横浜子ども会議」では、「だれにとっても居心地のよい学校づくり」というテーマで、7人の6年生が南希望が丘中学校ブロックで話し合いました。あいさつや交流など自分たちのできることを考え、実行に移していく大切さを確認しました。この話し合いを受け、8月29日に旭区全体での子ども会議に代表児童が参加してプレゼンを行ってきました。本校でもこの活動が深まってくれることを期待しています。

6年生の代表児童が、6月の国際平和スピーチコンテストで「受け入れることで、つながる」というスピーチを旭公会堂で行いました。人との違いを受け入れてよりよい関係を築いていくには、どんなことが大切なのかを自分の言葉で伝えてくれました。堂々としたスピーチ、立派でした。

自分で考えたりめあてをもったりして行動する姿は本当に素晴らしいです。輝いて見えます。

お祭りに行った。地域の行事に参加した。宿題やった。家のお手伝いをした。本をたくさん読んだ。のんびりした。たっくさん遊んだ。ゴロゴロしてた。も、よい夏休み！さあ、始まりました。